



NiFA NEWS

謹賀新年

“サッカーファミリーと心をひとつに”

挑戦・更なる飛躍!



公益財団法人 日本サッカー協会
会長 大仁 邦 彌

新潟のサッカーファミリーの皆様、明けましておめでとうございます。

今年は、オリンピックキヤーです。既にアジア最終予選(AFC U-23選手権2016)もスタートしており、U-23日本代表は13日に朝鮮民主主義人民共和国と、16日にはサウジアラビアと対戦しました。FiFAワールドカップのアジア予選同様、厳しい戦いになるとは思いますが、若いサムライたちがさらに成長した姿を見せ、オリンピックの切符をもぎ取ってくれるものと信じています。一方の女子は、2月に大阪で予選が開催されます。アジアは2枠という狭き門ですが、是非、多くのファンの皆さんにスタジアムに足を運んでいただき、ホームのアドバンテージを最大限に生かして再び世界舞台への扉を開きたいと思っています。

年末は、3年振りの日本開催となったFiFAクラブワールドカップで大いに盛り上がりました。Jリーグ王者として出場したサンフレッチェ広島は、オセアニア大陸代表、アフリカ大陸代表を次々と破り、準決勝では南米王者でアルゼンチンの強豪・リバープレートを相手に引けを取らない戦いを演じました。チャン스가あつただけに決勝進出も期待されましたが、あと一歩及ばず。それでも、アジア王者の広州を破り、2008年大会以来、Jクラブが世界第3位を達成したことは嬉しい限りです。早くも次の開催が楽しみですが、今年こそはJクラブがアジア王者として出場してほしいと思っています。

選手の国際競争力アップのため、U-16の国際大会を創設。また、JFA/Jリーグ協働事業(JJP)を立ち上げ、Jリーグ、47都道府県サッカー協会(47FA)と連携した若年層の選手強化、指導者養成などを推進しています。47都道府県協会と連携し、トレ

センやJリーグアカデミーの活動推進、指導者の質の向上、リーグ戦の推進など多角的に取り組み、日本サッカーの基盤を強固にしていきます。



一般社団法人 新潟県サッカー協会
会長 柄 沢 正 三

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては佳い年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、当協会は役員・理事及び専門委員会・連盟・地区協会の役員並びに委員等多くの皆様のご尽力により事業を遂行してまいりました。また、多くのサッカーファミリーの皆様のご支援ご協力を得て、新潟県にサッカーポーツが定着していることを如実に証明してきたところで、関係の皆様にご心より感謝申し上げます。

また、専門委員会をはじめとして協会に

ご存知の通り、JFAは2014年から「JFAリフォーム」と称して47FAを含む組織強化に取り組みを進めました。また、「ウエルフェアオフィサー」を設置して大会や組織等におけるリスク、フェアプレーの目標2030」を設定

2015年は「JFA A2005年宣言」に掲げる中期目標を達成する約束の年であったことから、そこに掲げる三つの目標の達成度の評価を行います。その上で「JFAの目標2030」を設定

係する各組織は、新潟県の普及発展及び強化育成に努め新潟県のレベル向上につなげてまいりました。また、北信越地域はサッカー・フットサルともに地域に所属する指導者はじめ多くの方々のご尽力により強豪地域となりましたが、昨年新潟県は多くのチームが北信越大会を突破し全国へと進みました。各々のカテゴリーで結果を出し新潟県のサッカーが全国レベルにあることを証明し、サッカーポーツの注目度を飛躍的に高めてまいりました。

これら普及・強化の基本となります「N

現在、「JFAMI」に厳しい状況にありま

2016年も、日本サッカーと日本のスポーツのさらなる発展のために、サッカーファミリーの力を結集して取り組んでいきたいと思います。新潟の皆様、今年もご支援いただきますよう、よろしくお願

今年も協会は「開かれた協会」を目指し活動を推進してま

最後に、会員の皆様にとりまして本年が更なる飛躍の年になりますよう心からご祈念申し上げます。

ご支援賜ります日本サッカー協会・地区協会・新潟県各自治体・関係企業及び県内サッカーファミリーの皆様にご心から感謝申し上げます。

ぼくのわたしの 夢

『わたしの夢』★★★★★★

十日町SC JACK 藤木 咲希

私の夢は二つあります。一つめは、将来、薬剤師になることです。祖母が薬局で働いている姿を小学生の頃見て、「薬剤師になりたい」と思ったのが最初でした。薬局には、いろいろな人が薬を買いに来ます。体だけではなく心が元気でない人も来ます。話を聞いたり、適切な薬を紹介したりすることで、元気になっていく姿をたくさん見ました。その様子を見て、人を元気にさせることができる薬剤師になりたいと思いました。また、世界には、病気になるのに医者に見てもらえず、苦しんでいる人がたくさんいることをテレビで見ました。その人たちを薬で助けたいと思ったからです。将来の夢を叶えられるように、今やるべきことをしっかりとやっていきたいと思います。

二つめは、今夢中になっているサッカーをずっと大人になっても続けていきたいです。今は、大人の方と一緒に練習しています。サッカーだけではなく、いろいろなことを教えてください。私にとっては、とても大切なチームメイトです。このチームメイトを大切に、大好きなサッカーを大人になってもずっと続けていきたいと思っています。

『私の夢』★★★★★★

JSC LUMIERE 6年 富沢 愛花

私は、小学校1年生の頃に、サッカーと出会いました。その頃に習っていたピアノを辞める事になって、弟がやっていたサッカーをやってみようと思ったのがきっかけでした。初めは何も出来なくて、足手まといでしたが、何故か楽しかったのを覚えています。

私がサッカーを始めた2011年、なでしこJAPANがW杯で優勝しました。その試合で川澄選手が決めた超ロングシュート。そのゴールにとても感動しました。これを見た時、私もいつか、なでしこJAPANの一員になりたいと思いました。そして、日本中のみんなに感動を与える事ができたら嬉しいだろうなと考えるようになりました。

勿論、今はまだまだ力不足ですし、思い通りにならないことや、悔しいこともたくさんあります。でも、サッカーを辞めたいと思った事は一度もありません。いつか必ずなでしこJAPANの主力メンバーになって、日本中のみんなに感動してもらえるようなプレーを見せたいです。そして、サッカーだけでなく、川澄選手のように、人間的にも立派な人になれるように頑張りたいと思っています。

『私の夢』★★★★★★

高志中等教育学校女子サッカー部 1年 今井 瑞季

私の夢はチームに貢献できるプレーヤーになることです。私はこれまで、練習でやったことをうまく試合で生かすことができず、試合でも悔しい思いをすることが多くありました。だから今年は、今までできなかった「練習を試合に生かす」ということを目標に頑張りたいと思います。今までの私は、練習の時に試合を意識するという習慣がなく、試合を迎えると緊張して、思うように体が動きませんでした。このままでは、チームに貢献することはできません。よって、私は目標を達成するために日々の練習を試合に置き換えてイメージし、本番のように緊張感をもってのぞみたいと思います。そしていつかチームに貢献できるようなプレーヤーになるため、一生懸命サッカーに集中し、頑張りたいです。

『私の夢』★★★★★★

グランセナ新潟FCガールズ 5年 高島ちひろ

私の将来の夢は、なでしこジャパンで活やくする選手になる事とワールドカップで優勝する事です。それまでも目標が四つあります。まず、来年六年生になった時に、北信越トレセンに選ばれる事と日報杯で優勝する事です。今年、日報杯で優勝できなくてすごくやしかったので、来年は必ず優勝します。次は中学生になった時、INAC神戸に入る事です。そして、二〇二〇年の東京オリンピックでなでしこの選手として出場する事です。

私は、この夢をかなえるために今、がんばっている事があります。それは毎日、体幹トレーニングをする事です。お父さんが体幹を一年続けると、今の二倍、三倍に上手になると教えてくれたのでがんばっています。今あげた夢に少しでも近づけるように、一步一步がんばりたいと思います。

『ぼくの夢』★★★★★★

グランセナ新潟FCジュニア 鳴海 凜人

ぼくの将来の夢は、世界で通用するサッカー選手になることです。そのためにやらなければいけない事が3つあります。

1つ目は、人間性の部分です。なぜなら上手いサッカー選手は、人間性がしっかりしている選手が多いと思ったからです。サッカーの色々なコーチが「人間性がしっかりしている選手は、サッカーもしっかりしている。」この言葉を聞いてぼくは、本当にそうなんだと思いました。例えば、メッシ選手は、ファンみんなとあく手したりして、ファンを大切にしているのすごいいいと思いました。ぼくも一流選手になりたいので人間性もしっかりしていきたいです。

2つ目は、技術の面です。自分はまだ、左足のキックの精度やドリブルの質がまだまだ低いので、自分から進んで努力していきたいです。

3つ目は、自分の体調管理や自立する事です。なぜなら、この冬は、風邪が流行しているので手洗いうがいをし、体調管理をしていきたいです。もう1つは自立することです。例えば、親の手伝いを積極的にやったり、やらなきゃいけないことを言われた後ではなく、言われる前に行動にうつすことなどをがんばってやりたいです。

この3つのことを努力し続けることで本当の世界で通用するサッカー選手になれると思いました。全少でもてっぺん目指してがんばりたいです。

僕の夢★★★★★★

FC大和ジュニオールズ 小嶋 信慈

僕の夢はサッカー選手になることです。

そのためにチームから信頼されるエースストライカーになることを目標にしています。今、僕が所属しているチームは、FC大和ジュニオールズです。昨年のしんきんカップ準々決勝では、二点決めることができとても自信になりました。今年の新津カップではチームは優勝しましたが、僕は出場時間が短く、得点もできず、とても悔しい思いをしました。この悔しさをバネにレギュラーを取るために練習に励んでいます。今はターンやフェイントの練習に力を入れています。三月にはチビリンピック北信越大会があります。それまでにチーム内での競争に勝ち、試合では得点をたくさんとりたいです。そして優勝して全国大会にいきたいです。

第21回全日本フットサル選手権大会新潟県大会

フットサル委員長 森 恭



サッカーの天皇杯と同じように、全国の1種・2種年代のすべてのJFAフットサル登録チームが出場できるカップ戦が全日本フットサル選手権である。今回の新潟県大会には25チームが参加し、11月8日から12月13日にかけて県内各地を会場に戦いが繰り広げられた。

北信越リーグに所属する4チームは決勝ラウンドからの出場となるため、予選ラウンドは21チームで行われた。予選参加チームは、年度決勝のカードが実現。北信越リーグで、Dリーグは、北信越リーグの重鎮カペーラ新潟F3が貫禄の準決勝進出を決め、唯一の北信越リーグチームの4強となった。

準決勝・決勝は、12月13日に上越市総合体育館で行われた。準決勝第1試合はリシャール長岡対新潟大学友会サッカー部、いずれもサッカーをベースとするチームの対決は、前半で効果的に得点を挙げたりリシャールが新潟大学の猛追を1点差で振り切つ



て決勝進出を決めた。第2試合はカペーラ新潟F3がやはり貫禄勝ち、後半にレオニーノの追い上げにあったが決勝に駒を進めた。今年度の北信越大会は新潟県内で行われるため、決勝進出の2チームが北信越大会出場となった。北信越キップを手にした両チームの試合であったため、静かな決勝になるのではないかと予想に反して、決勝戦は延長戦でも決着がつかず、PK戦によって優勝チームが決まるという、波乱の大会にふさわしい幕切れであった。優勝したリシャールは2年続けてのファイナリストであり、大会初優勝となった。

北信越大会は、新潟県主管として平成28年1月23、24日(土、日)に長岡市みしま体育館で行われる。リシャール、カペーラの健闘を期待し、久しく訪れていない新潟県勢の北信越大会優勝と全国大会へのキップを手に入れてほしいと願っている。また、この日はJFAフットサルインストラクタ・前川氏のクリニックも長岡市内で開催される予定である。3種、2種年代のみならず、県内フットサルをリードする長岡市での北信越大会に多くの皆さんが観覧に訪れていただきたいものである。

知的障害者サッカーの発展をめざして

知的障害者サッカークラブハットトリック 監督 横田 大輔

知的障害者サッカーとは、言葉のとおり知的障害者がプレーするサッカーのことです。プレーの楽しみ方は人それぞれです。そして、知的障害者サッカーの世界にも日本代表があり、W杯も開催されています。今から7年前のトキメキ新潟大会を覚えていきますか。国体の後に開催される障害者の全国大会で、個人種目だけでなく、サッカーを含めた7競技の団体種目でも新潟県代表チームが出場しました。

このときサッカー新潟県代表は、島根県代表と札幌市代表と対戦しました。いずれも0対5という結果で敗れましたが、この大会がきっかけで新潟県にも知的障害者のサッカーが誕生しました。それがハットトリックです。

ハットトリックは、毎週土曜日、朝9時から江南高等特別支援学校で、東京・福島・長野などの県外遠征を実施しています。

技の団体種目でも新潟県代表チームが出場しました。冬期間や雨天時は、ふれあいプラザの体育館や屋根付きのフットサルコート、学校の体育館などを借りながら練習をします。

基本スタンスは11人制のサッカーでの全国大会出場を目指して活動をしています。競技サッカーに興味がある方は、ぜひ一度練習に参加してみませんか。一緒にサッカーを楽しみましょう。

※連絡先：ハットトリック事務局 (gold14rush@yahoo.co.jp)です。電話連絡はふれあいプラザにお願いします。



女子委員会新潟地区活動報告

女子委員会新潟地区委員長 佐野 裕子

新年明けましておめでとうございます。日頃より女子委員会の活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年7月初旬、女子サッカーの普及を一番の目的とし開催しております恒例の「新潟県女子U-12・8人制サッカーフェスティバル」を今年度も2日間、渡り鳥屋野球技場にて開催致しました。一昨年に比べチーム数は残念ながら減りましたが、参加されたチームの皆さんにおかれましては本年も恒例となりまして毎年お正月明け早々の開催。「JFAガールズ・レディーズ」鈍った身体を動かそう！初蹴りで楽しく交流を！と始めたこのフェスティバル。新潟の冬は厳しいのでこの時期はフットサルで楽しんで頂いております。今回は長岡市北部体育館(一般部)と豊栄市体育館(U-12の部)をお借りし2日間に渡り開催。フットサルということもあり毎年チーム数も増え参加者の皆さんで盛り上げて頂き大変嬉しく思っております。

女子というカテゴリは年代的にも幅広く、チーム数も少なからず、練習や試合等の環境はまだまだ厳しい状況です。サッカーが好きだ！楽しい！ずっと続けたい！そんな選手や周りの方々の想いをサポート出来ますよ。女子委員会一同この所存でございます。より多くの方々のご理解とご協力を切にお願いし、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



●●スマイル&チャレンジ●●
当協会にご支援いただいている法人各社
TONY テレビ新潟 BSN新潟放送 新潟日報
東北電力 総合生協 新潟県信用基金協会
2007年宣言の実現のため諸事業に取り組んでいます!!

東日本大震災 復興支援
がんばろうニッポン!
サッカーファミリーのチカラをひとつに!

審判委員会

審判委員長 加藤 芳彦

新年あけましておめでとうございます。日女子1級審判員が誕生...

現在、本県の審判員はサッ 係者のみなさまに改め...

2015年度の昇級試 分析や評価を通じて審...

FIFA大会に参加して

国際審判員 八木あかね

FIFA U20ワールドカップ 2015 非常に大きな経験とな...



約1週間 審判員は...

香港リーグ体験記

国際審判員 田中 玲匡

香港との交流プロ グラムとして12/10...

を最小限にしたいとい オフサイドについて...



前に集合して準備をし ながら判定と審判法...

女子1級審判員認定審査を受験して

松浦波瑠夏

2015年度女子1 級審判員認定審査を受...



この受験を通してた くさんの経験を積むこ...

医科学委員会の活動について

医科学委員長 大森 豪

現在、NiFA医科 会理療法士(P.T)...

①サッカー外傷、障 害の治療に関しては、...

全国高校サッカー選手権大会 新潟明訓高等学校 初戦突破



第94回全国高校サッカー選手権大会 試合結果

12月31日(木) 一回戦 12:05~

フクダ電子アリーナ

新潟明訓(2-0)那覇西

1月2日(土) 二回戦 12:05~

ゼットエーオリプスタジアム

新潟明訓(1-3)東福岡

大会結果

- ・高円宮杯U-15 第27回全日本ユース(U-15)選手権大会
期日：2015年12月19日~2015年12月28日
- 一回戦
アルビレックス新潟 U-15(北信越1位)
- 1-2
セレッソ大阪U-15
前(0-1)後(1-0)延長(0-1)
- 1回戦
長岡ジュニアユース FC(北信越2位)
0-2
浦和レッズジュニアユースU-15
前(0-1)後(0-1)
- ・全日本ユース(U-15)フットサル大会
期日 2016年1月9日(土)~2016年1月11日(月)
出場チーム
長岡ジュニアユース FC(北信越1位)
FC五十嵐ジュニアユース(北信越2位)
エスプリ長岡FC U-15(北信越3位)

各地区協会訪問会議報告

副会長兼専務理事 渡辺 滋



県協会と各地区サッカー協会の訪問会議を以下の日程で開催いたしました。

- 中越地区 十一月 六日
- 上越地区 十一月十三日
- 新潟市 十一月二十日
- 下越地区 十一月二十七日

各会場とも地区サッカー協会会長をはじめとして役員の皆様、委員の皆様にご出席いただき実りある訪問会議とすることができました。開催にご尽力いただきました皆様へ御礼申し上げます。

今年度は、新たに新潟市サッカー協会の皆様とも会議を行わせていただき、多くの貴重なご意見及びご指導を頂戴することができました。次回への期待が広がる機会でありました。開催に向けご苦労された新潟市サッカー協会の皆様に感謝申し上げます。

今年度も県協会から「現状と課題」として会員登録の現状や推移、組織・予算・事業の概要などを報告いたしました。特別事業として東京オリンピック・パラリンピックキャンプ候補地立候補の現状、JFAサッカー施設整備事業の状況などにも触れさせていただきました。

各地区協会からは、会議開催報告、実施事業報告、加盟市町村の現況、チーム選手登録状況、各種委員会の活動報告などをいただきました。

会議は、総括的な事項や各々の報告に照らした課題・要望などについて積極的な意見交換が行われ、課題・問題共有したいとの思いから熱意溢れる会議となりました。

課題としては、各地区に共通して、登録チーム選手の減少、指導者の不足、審判員レベルの格差、女子選手の育成と試合機会の不足などがありました。要望では、審判員講習会の各地区での開催希望などがありました。これらは以前から寄せられている事項であり関係機関と通じ改善を目指すべき問題であります。

また、今回の会議では第4種小学生年代での指導者の在り方への意見が多く寄せられています。日常の指導態度・試合時の振舞いなど人気の高いサッカーにおいてご父兄・観衆の注目は今後更に集まります。暴言・暴力に全ての出席者が心を痛め、その根絶に取り組まれておりました。

各地区協会とも創意工夫されサッカーファミリーの拡大を目指し尽力されておりました。多くの人をサッカーに結び付けたい。子供たち、選手たちのために何かしなければならぬ。その思いに心から感謝申し上げます。県協会としても対応に尽力いたします。更なるご支援・ご協力をお願いいたします。



NiFA マスタープラン 2007 スタート

(一社)新潟県サッカー協会は、英語名 Niigata Football Association の略称を従来の NFA から NiFA に変更し、これを「ニファ」と読みます。

また、新たなスタートを切る NiFA を象徴するシンボルマークを作成。4本の翼は新潟、上越、中越、下越の4地区協会を表し、新潟県の形も示しています。そして4地区協会の飛躍による新たな新潟のサッカーを GOAL に向かうサッカーボールで表現しました。さらに濃いブルーは新潟の空と海、地域に根ざした NiFA を表しています。NiFA はさまざまなシーンでこのシンボルマークを使用していきます。

NiFA の理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

NiFA のビジョン

- 新潟県におけるサッカーの普及に努め、全ての県民がサッカーに親しむ環境を作り上げる。他の競技団体と連携し、スポーツをより身近なものとする中で、県民の健康で豊かな生活をサポートする。
- 新潟県を代表するチームが日本のトップレベルで活躍できるようサッカーの強化に努め、新潟県出身プレーヤーが国内外で活躍することで、県民に勇気・希望・感動をもたらす。
- 常にフェアプレーの精神を持ち、国内外の人々との友好を深め、社会に貢献する。

NiFA の目標 2015

2015年には、健全でゆるぎない組織となり、6つの目標を達成する。

- 新潟県内のサッカーファミリーが8万人となる。
- Jリーグ、Lリーグに新潟県出身プレーヤーを合計で10人以上輩出し、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出する。
- 各カテゴリーの全国大会において、新潟県チームのいずれかが常にベスト4以上の成績を修める。
- JFLに加盟するチームを育成する。
- 各カテゴリーの全国大会、国際試合を誘致、運営する。

NiFA の目標 2050

2050年に向けて、組織基盤をさらに強固なものとし、2050年までに以下の目標を達成する。

- 新潟県内のサッカーファミリーが15万人となる。
- Jリーグ、Lリーグに新潟県出身プレーヤーが合計10人以上存在し続け、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出し続ける。
- 日本でFIFAワールドカップが開催される際には、サッカー専用スタジアムで試合を開催する。

祝 星野陸夫顧問 秋の叙勲を受章

平成27年11月3日に秋の叙勲の受章者が発表され、当協会顧問星野陸夫氏が旭日双光章を受章されました。元新潟県体育協会常務理事として県内スポーツ振興に尽力された氏の長きに渡る活動に対して発令されました。

氏は「サッカー不毛の地」と言われた新潟県で、当協会の前身である県蹴球協会事務局長として国体運営に奔走され競技人口の増加に繋げられました。その後アルビレックス新潟の結成、日韓ワールドカップの新潟招致などに尽力され、サッカーを身近な魅力あるスポーツとして育てられました。なお、自身の設立したチームでは今も「現役」です。

県協会の草創期から現在に至るまで協会の育成・運営に携わられ多くの指導をされてこられた氏の活動は県サッカー界の歴史と共にあります。

この度の受章は県協会にとりましても誇りであり、心よりお祝い申し上げます。